

(様式-2)

INTERMEDIARY SPACE -現実空間と仮想空間を繋げる媒介空間の提案-

神奈川大学 建築学科
矢吹 拓也



Section A Scale 1:250



Section B Scale 1:250

設計主旨 concept

現代社会はテクノロジーの進化により、物質を必要とする”現実空間”と、物質を必要としない”仮想空間”の二つの空間の境目が曖昧になってきている。だとすれば、建築でも二つの空間を曖昧にすることは可能ではないかという興味から、二つの空間を繋ぎ合わせる媒介空間を納骨堂をテーマに提案する。無機質な森を歩くという行為を媒体に、気持ちの変化を建築で促す。実際に目の前にはいない故人と共存することができる空間である。この建築により、過去、現在、未来の三点を結び、意志を受け継いでいく。